



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場会社名 焼津水産化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2812 URL http://www.yskf.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 和広
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営統括本部 (氏名) 内山 毅彦 (TEL) 054-202-6044
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 平成27年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	9,698	0.1	264	△51.6	297	△50.1	195	△46.2
27年3月期第2四半期	9,685	△4.8	546	△2.2	596	△3.1	363	△3.4

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 67百万円(△78.6%) 27年3月期第2四半期 316百万円(△54.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	15.75	—
27年3月期第2四半期	28.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	24,407	19,090	78.2
27年3月期	24,955	19,196	76.9

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 19,089百万円 27年3月期 19,195百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	10.00	—	14.00	24.00
28年3月期	—	10.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	14.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,430	△4.9	700	△25.9	860	△18.6	530	△22.1	42.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年3月期2Q	13,056,198株	27年3月期	13,056,198株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	656,221株	27年3月期	656,171株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年3月期2Q	12,400,006株	27年3月期2Q	12,893,892株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は完了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)のわが国経済を取り巻く環境は、円安による輸出採算の好転や株高などによる雇用・所得環境の改善傾向がみられ、全般的には穏やかな景気回復基調となっているものの、中国経済をはじめとする海外景気の下振れ懸念などもあり、実態経済の先行きは依然として不透明な状況にあります。

食品業界におきましても、円安に伴う原材料価格の上昇などによる物価高、個人消費の回復鈍化、少子高齢化の進行等、依然として厳しい収益環境が続いております。

このような中、当社グループでは、中期経営計画「Change & Challenge」の最終年度にあたり、自らが“変化”し、新しいことに“挑戦”していく企業風土を醸成しながら、更なる企業価値向上と持続的な成長の実現に向けた取り組みを進めております。

具体的には、YSK再興戦略として、i. 事業構造改革の実施、ii. 収益重視の営業推進、iii. 新規事業領域(「BtoC」市場)の進展、iv. Only One、差別化商品開発・上市の継続、v. 海外第2拠点の確立、vi. 攻めのガバナンスとROEの向上を掲げ、収益性向上のため、既存事業を強化すると共に、前事業年度中に立ち上げた通信販売事業における化粧品「NAG+」シリーズの販売推進や、農業分野への進出など新規事業領域の拡大に注力してきました。また、製造面では、BCP対策の一環として昨年8月28日に竣工した掛川工場の安定稼働、事業構造の見直しなど、生産性の向上に向けた取り組みも着実に進んでおります。

連結売上高につきましては、景気回復の期待感に支えられて加工食品用の調味料が、緩やかな需要回復の基調となりましたが、機能食品は、引き続き厳しい市場環境にあって減収となったほか、水産物のOEM加工が減少し、連結売上高は96億98百万円(前年同四半期比12百万円、0.1%増)となりました。利益面につきましては、円安による原材料価格の上昇と動力費の増加などから変動比率が上昇して売上原価を押し上げました。製品価格の値上げにも取り組んだものの即応とはならず、また、一部低採算品の売上が予想以上に伸長したことや、機能食品セグメントにおける主要製品が不振であったこともマイナス要因となりました。さらに、7月からの株式市場における株価の下落により、退職給付費用が増加したこともあり、連結営業利益は2億64百万円(同2億82百万円、51.6%減)、連結経常利益は2億97百万円(同2億98百万円、50.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億95百万円(同1億67百万円、46.2%減)となりました。

セグメント別の業績は以下の通りです。

(調味料)

調味料は、主に加工食品メーカー向けの液体調味料や粉体調味料の製造販売及び各種わさび類他香辛料の製造販売です。粉末製品が前期比8.4%増、液体製品が前期比4.9%増と好調に推移したことで、売上高は44億31百万円(前年同期比2億51百万円、6.0%増)、セグメント利益(営業利益)は、昨年建設した掛川工場の固定費負担と動力費の増加が重く、3億2百万円(同2億15百万円、41.7%減)となりました。なお、前連結会計年度中に縮小を決めた香辛料の製造販売は、計画通り当第2四半期をもって整理し、当該製造工場の静岡工場を閉鎖致しました。

(機能食品)

機能食品は、機能性食品素材及び機能食品の製造販売及び医療栄養食のOEM製造販売ですが、昨年から引き続き健康食品市場の競争激化に伴う取引先の受注減少などにより、機能性食品素材及び機能食品が減収となりました。医療栄養食におけるOEM生産は、OEM元の在庫調整等により受託数量が増加しました。以上の結果、売上高は27億48百万円(同1億17百万円、4.1%減)、セグメント利益(営業利益)は2億45百万円(同54百万円、18.2%減)となりました。なお、前連結会計年度中に事業の撤退を決定した医療栄養食事業は、計画通り当第2四半期をもって生産を終了しました。

(水産物)

水産物は、主に冷凍鮪・冷凍鰹の原料販売並びに加工製品の製造販売です。海外向け輸出の回復やカツオタタキ製品の受注が好調だったものの、鮪のOEM生産など加工部門の減少が大きく、売上高は18億94百万円(同1億7百万円、5.4%減)となりました。セグメント損失(営業損失)は0百万円(同26百万円減)となりました。

(その他)

その他は、その他商品の販売ですが、売上高は6億22百万円(同14百万円、2.3%減)、セグメント利益(営業利益)は38百万円(同0百万円、0.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産の総額は、前連結会計年度末に比べ5億48百万円減少し、244億7百万円となりました。

流動資産は、原材料及び貯蔵品が3億14百万円、受取手形及び売掛金が2億54百万円増加した一方、現金及び預金が2億24百万円、その他流動資産が1億99百万円減少したことなどにより5百万円減少し、127億57百万円となりました。

固定資産は、期中の減価償却が設備投資を上回り有形固定資産が3億86百万円、株価の下落による時価評価額の減少等により投資有価証券が2億5百万円減少したことなどにより5億42百万円減少し、116億49百万円となりました。

流動負債は、未払消費税等が69百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が2億16百万円、未払法人税等が2億12百万円減少したことなどにより2億75百万円減少し、37億88百万円となりました。

固定負債は、長期借入金が1億円、繰延税金負債が66百万円減少したことなどにより1億66百万円減少し、15億29百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金が1億41百万円減少したことなどにより1億6百万円減少し、190億90百万円となりました。

この結果、自己資本比率は78.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は40億57百万円となり、前連結会計年度末比1億92百万円減少しました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、減少した資金は95百万円（前年同期比9億62百万円減）となりました。この内訳の主なものは、税金等調整前四半期純利益2億97百万円、減価償却費4億26百万円などの増加要因に対し、法人税等の支払額3億15百万円、売上債権の増加2億53百万円、仕入債務の減少2億16百万円などの減少要因によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、増加した資金は1億43百万円（前年同期比18億16百万円増）となりました。この内訳の主なものは、投資有価証券の売却による収入1億43百万円などの増加要因によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、減少した資金は2億43百万円（前年同期比4億29百万円減）となりました。この内訳の主なものは、長期借入金の返済による支出1億円、配当金の支払額1億73百万円などの減少要因によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、平成27年10月30日に発表いたしました通期の業績予想の数値から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

なお、当該表示の変更以外については影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,882,275	4,657,560
受取手形及び売掛金	4,266,043	4,520,745
商品及び製品	1,350,511	1,272,491
仕掛品	143,227	66,128
原材料及び貯蔵品	1,781,525	2,095,952
繰延税金資産	79,957	81,280
その他	267,180	67,401
貸倒引当金	△7,153	△3,739
流動資産合計	12,763,568	12,757,821
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,214,566	3,096,190
機械装置及び運搬具(純額)	2,376,593	2,115,948
土地	3,000,335	3,000,335
リース資産(純額)	33,880	23,369
その他(純額)	55,208	57,903
有形固定資産合計	8,680,584	8,293,747
無形固定資産	72,054	61,525
投資その他の資産		
投資有価証券	3,216,012	3,010,586
退職給付に係る資産	53,532	115,679
繰延税金資産	3,752	4,656
その他	173,936	169,848
貸倒引当金	△7,571	△6,571
投資その他の資産合計	3,439,662	3,294,200
固定資産合計	12,192,302	11,649,473
資産合計	24,955,871	24,407,294

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,908,056	1,691,686
短期借入金	1,000,000	1,040,000
1年内返済予定の長期借入金	200,000	200,000
リース債務	19,201	11,629
未払法人税等	323,583	111,214
未払消費税等	23,144	92,224
賞与引当金	115,231	157,393
役員賞与引当金	—	9,000
その他	474,770	474,944
流動負債合計	4,063,988	3,788,092
固定負債		
長期借入金	1,100,000	1,000,000
リース債務	17,350	13,083
繰延税金負債	553,142	487,125
退職給付に係る負債	11,742	18,837
長期未払金	13,434	10,010
固定負債合計	1,695,670	1,529,056
負債合計	5,759,658	5,317,148
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,617,642	3,617,642
資本剰余金	3,414,133	3,414,133
利益剰余金	11,489,360	11,511,044
自己株式	△623,001	△623,051
株主資本合計	17,898,135	17,919,769
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,153,426	1,011,918
為替換算調整勘定	143,798	157,759
その他の包括利益累計額合計	1,297,224	1,169,677
新株予約権	853	699
純資産合計	19,196,212	19,090,146
負債純資産合計	24,955,871	24,407,294

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	9,685,665	9,698,055
売上原価	7,579,539	7,788,578
売上総利益	2,106,126	1,909,476
販売費及び一般管理費	1,559,184	1,644,618
営業利益	546,941	264,858
営業外収益		
受取利息	2,721	624
受取配当金	34,039	28,881
受取賃貸料	658	2,125
為替差益	2,264	—
その他	22,362	31,411
営業外収益合計	62,045	63,041
営業外費用		
支払利息	1,772	1,446
為替差損	—	810
たな卸資産廃棄損	3,953	23,605
その他	6,885	4,405
営業外費用合計	12,611	30,268
経常利益	596,376	297,631
特別利益		
固定資産売却益	429	1,522
特別利益合計	429	1,522
特別損失		
固定資産除却損	120	757
賃貸借契約解約損	—	525
損害賠償金	16,969	—
会員権売却損	781	—
特別損失合計	17,872	1,282
税金等調整前四半期純利益	578,933	297,872
法人税等	215,660	102,586
四半期純利益	363,273	195,285
親会社株主に帰属する四半期純利益	363,273	195,285

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	363,273	195,285
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,006	△141,507
為替換算調整勘定	△32,494	13,961
その他の包括利益合計	△46,501	△127,546
四半期包括利益	316,772	67,738
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	316,772	67,738
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	578,933	297,872
減価償却費	310,198	426,819
のれん償却額	764	764
退職給付に係る資産及び負債の増減額(△は減少)	△94,962	△55,051
貸倒引当金の増減額(△は減少)	475	△4,413
賞与引当金の増減額(△は減少)	48,595	42,162
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	9,000	9,000
受取利息及び受取配当金	△36,760	△29,505
支払利息	1,772	1,446
為替差損益(△は益)	△3,239	1,668
有形固定資産除却損	120	757
有形固定資産売却損益(△は益)	△429	△1,522
会員権売却損益(△は益)	781	-
損害賠償損失	16,969	-
売上債権の増減額(△は増加)	△190,285	△253,205
たな卸資産の増減額(△は増加)	△56,785	△158,203
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△27,650	72,912
その他の固定資産の増減額(△は増加)	1,815	3,793
仕入債務の増減額(△は減少)	238,051	△216,805
未払消費税等の増減額(△は減少)	△67,229	67,981
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△35,799	△2,147
その他の固定負債の増減額(△は減少)	-	△3,424
その他	1,712	△8,626
小計	696,048	192,272
利息及び配当金の受取額	36,760	29,505
利息の支払額	△1,908	△1,467
法人税等の支払額	△37,778	△315,395
法人税等の還付額	190,992	-
損害賠償金の支払額	△16,969	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	867,144	△95,085
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△446,781	△426,781
定期預金の払戻による収入	458,781	458,781
有形固定資産の取得による支出	△1,679,844	△27,267
有形固定資産の売却による収入	975	-
無形固定資産の取得による支出	△3,320	△1,280
投資有価証券の取得による支出	△2,758	△3,002
投資有価証券の売却による収入	-	143,431
会員権の売却による収入	818	-
その他	-	12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,672,129	143,893

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	500,000	40,000
長期借入金の返済による支出	△100,000	△100,000
自己株式の取得による支出	△45	△50
新株予約権の発行による収入	856	—
配当金の支払額	△205,448	△173,388
リース債務の返済による支出	△9,459	△9,792
財務活動によるキャッシュ・フロー	185,902	△243,231
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,203	1,708
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△616,878	△192,715
現金及び現金同等物の期首残高	4,347,218	4,250,494
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,730,339	4,057,778

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	調味料	機能食品	水産物	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	4,179,875	2,866,468	2,002,201	9,048,545	637,119	9,685,665	—	9,685,665
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	7,661	7,661	—	7,661	(7,661)	—
計	4,179,875	2,866,468	2,009,862	9,056,206	637,119	9,693,326	(7,661)	9,685,665
セグメント利益	517,996	299,502	25,822	843,321	38,234	881,555	(334,613)	546,941

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他商品であります。

2. セグメント利益の調整額334,613千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務、経理部門等管理部門に係る経費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	調味料	機能食品	水産物	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	4,431,634	2,748,962	1,894,852	9,075,450	622,605	9,698,055	—	9,698,055
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	4,586	4,586	—	4,586	(4,586)	—
計	4,431,634	2,748,962	1,899,438	9,080,036	622,605	9,702,642	(4,586)	9,698,055
セグメント利益 又は損失(△)	302,042	245,139	△999	546,182	38,012	584,194	(319,336)	264,858

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他商品であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額319,336千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務、経理部門等管理部門に係る経費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。